

2023 年 8 月発行

年長交流会

5 月 2 4 日(水)、さいたま市にある見沼自然公園で久しぶりの年長交流会を行いました。
コロナのために 3 年間でできなかった交流会なので、期待感いっぱい当日を迎えました。南埼玉 1 3 ャ園中 1 2 ャ園、子どもと大人合わせて 1 7 1 名もの参加でした。
前日の大雨が嘘のように、朝からまぶしいくらいの日差しの中、集まってくる子どもたちの表情は、少しの緊張とわくわく感でいっぱいでした。
初めてだったので、みんなで向かい合い園紹介をした後は、「チポリーノの冒険」「そんごくう」「ドドメジャム」「羊飼いの娘」「機関車の歌」を歌い、リズムをしました。歌声は明るく青空に響き、なだらかな斜面になっている芝を走り、跳び、手押し車、“なべなべ”は、園ごとの輪になったり二人組になったりと自由に楽しみました。
園対抗（少人数の園は合体して）の綱引きでは、応援の声と歓声が響きました。負けた悔しさで涙もありましたが、それも大切な経験になったことと思います。
その後は、広い池の周りを自由に散策。周辺にあるドドメの木からたっぷり実を採り、食べることもできました。

各園がそれぞれに頑張ってきた 3 年間でしたが、こうしてたくさんの仲間と出会い、いろいろな活動を共にする経験は、園内だけでは決してできないかけがえのないものだと感じました。お弁当を食べ、再開の時を楽しみに笑顔で解散しました。



部会報告

0 歳児部会

6 月 7 日（水）

会場：どんぐりっこ保育園

今年度は年齢別部会が年 2 回行われることになり、その 1 回目がどんぐりっこ保育園でありました。最初は全体のリズムを見ました。また 0 歳児室を見学し子どもの姿も見ることができました。風がよく通り、日当たりがよく静かで気持ちよい場所に 0 歳児室があり、環境の保障について学びました。
話し合いでは、各園の悩みや現状が出され、みんなで意見交換をしました。ずりバイをしてこなかった子への手立てとして、リズムで保障したり、斜面を利用して両性ハイを誘うなど、一人立ちしたときの安全の確保ができる身体作りについて話し合われました。手先や足先まで意識がいくようなマッサージの継続や脱力についても重要性を確認しました。寝返りをしないで座位を獲得してしまった子については、月齢はいったんおいで、一からやり直すことが大事、何より赤ちゃんが主人公となるよう保育者との関係作りやその子に合わせた働きかけで変わってくるのではないかと、などの意見が出されました。親との食の連携については、母子通園を利用して食材の固さや味を伝えている園の話や、園の給食に合わせてもらう工夫が紹介されました。
大人が先回りして何でも先行してしまうことがあるが、その子にとっての今を見てあげる、子どもから学び、子どもそのままを見ることが大事ではないかとの話をみんなで共有しました。

1 歳児部会

6 月 2 0 日（火）

会場：めだか保育園

久しぶりのめだか保育園での部会開催に、緊張した職員がいましたが、子どもたちはいつも通りのびのびと元気に遊び、素敵なリズムを見てもらうことが出来ました。話し合いでは各園の子ども達の様子と共に、悩みや聞いてみたいことを出し合いました。中心の話題は「喃みつき・ひっかき」について。事象にだけにとらわれず、背景をしっかりと探ることの重要性が確認されました。また保護者対応の違いなどもわかり実践交流の良さを再確認しました。
途中、2 グループに分けて討議することで話しやすさ、聞きやすさを確保することが出来ました。また動画提供など言葉では伝わりづらい内容も共有することが出来ました。今後も部会参加者が有意義な時間となるよう企画していきたいと思います。

2 歳児部会

6 月 8 日（木）

会場：こぐま保育園

13 か園 1 8 名の参加で 2 歳児部会を行いました。
当日は会場のこぐま保育園でヘルパンギーナや下痢を伴う風邪が流行っていたので、1 歳児・2 歳児の歌や手遊び・リズムの様子を短時間見学にとどめ、近くの公園の散歩を少し一緒に楽しみました。その後絵本の交流をし、みんなで雑談しながらの昼食時間は、久しぶりのぎゅっくらんな交流となり、有意義な時間となったようです。

各園から事前に出された交流したい内容としては、①新年度に入って自己主張いっぱいの子どもたちと みんなどうしている？が柱で、他に②療育と保育の兼ね合いについて ③保護者対応 ④職員間の意思疎通について が出されました。その中で進級したての子どもとの奮闘ぶりや こどもの賑やかな声が聞こえてきそうな様子と それにどう対応していくかの疑問が多くよせられました。

今年の2歳児の担任は、ベテラン保育者と若い保育者で組んで保育されている園が多く、各園から実践やエピソードを出し合うことで 大事なことがみつけれられるであろうと考え、当日は、テーマに沿って、いくつかエピソードを出し合いました。

【交流した内容】

◎手遊び 「いちご畑」 「さんびきのこぶた」遊び。

◎エピソードをふまえて

- ・自己主張の強い子はわかりやすいが、自己主張の弱い子は見過ごされがち。自己主張の弱い子の声を拾って遊びにもつなげていったら、大きな声で泣いて自己主張できるようになった。自己主張の弱い子に目を向けることが大事。
- ・男性保育者が とにかく子どもたちとよく遊んでいる。クラスが落ち着いている。
- ・食事の時に持っていたお皿や椅子も取り合い等大変。2歳児は自分の場所にこだわる時期だから、椅子を自分で用意して自分で配膳する…等 すべて子どもが自分で…と思うと凄い騒ぎやケンカになる。まだ 進級したばかりだから、大人のゆとりの中で自分にできること・やりたいことを増やしていく等 生活を見直してみてもよいのでは。
- ・4～5月の落ち着かない子どもの姿でもあるから、保育を次々と展開させていかないで間をもつことも大事。
- ・まだ経験の浅い保育者の 子どものイヤだいやだの言動に 余裕もなく、どうしたものか…といらついてしまう心情が語られた。それは、みんなかつて 抱いたことのある感情で、昔の自分を振り返るとよくわかる。でも 先輩保育者に、保育者としての自分の気持ちをぶつけるのではなく、子どもの気持ちにそうことが大事なんじゃない？という言葉にハットしたという経験が語られた。

◎療育について

- ・専門家にしかわからないこともあるので、病院に保育者もついて行って、話を聞いたらよかった。

◎最後に…田中昌人先生の講座資料より 2歳児についてまとめました。

3才児部会

担当園で、感染症を発症した児童が多くなり、今回は対面での研修会を実施できませんでした。

アンケートを基にして、書面での意見交換としました。

どの園も共通していた話題は「食事」「遊び」「仲間関係」「描画」についてが多く、今それぞれの項目についての意見を出してもらい、まとめているところです。

また、斎藤公子の保育論の中の「子どもの絵」という部分を読んでいただき、その感想も出してもらいました。各園の工夫や助言が今後の保育の参考になることと思います。

4歳児部会 6月13日（火）

会場：わらしこ保育園

園で子どもたちの様子を自由に見てもらった後、『ちいさいなかま』2023年4月～6月号（小川絢子さん 4歳児の発達と保育－4歳児のこころに学ぶ・自我の育ちに学ぶ）の読み合わせをしました。3グループに分かれ

て感想を出し合いました。また、各園のクラスの様子を話し合うと、お絵描きをしたがらない、家庭の事情が大変で生活リズムが安定しない、まだクラス単位の集団遊びは長続きしない時期など、共感し合える話題も多かったです。具体的な保育の工夫が得られたものばかりではありませんでしたが、学習資料で得られた学びのおかげもあり、子どもの姿を前向きにとらえることができたように思います。保育士も4歳児の保育を楽しみ、前向きな気持ちで保育をしたい、と元気の出る話し合いの時間が持てました。

年長部会 6月15日（木）

会場:どんぐり保育園

「おどろくんでない。」一大人にも〃文学、を、とやまばと保育園の長谷川さんが年長担任に『花咲山』を語り聞かせてくれました。また顔合わせでは担任、園長自身の思い入れのある本や詩を紹介してもらいながら自己紹介を行いその人の人となりに触れることが出来ました。

部会午前中はどんぐり保育園のリズム見学と『全集5』より「雑巾縫いの意味すること」「全体としての人間」の読み合わせ学習。午後は絵を見ながら話し合いを行いました。話し合いでは生き生きとした実践や切実な悩み事など多岐にわたる内容が話されましたが、一つ一つが大事な学びへとつながるもので、討議しきれないものもあり第二回目の部会(11月頃)への宿題となりました。一日一日の実践の積み上げを大事に過ごしたの再会を約束しました。

給食部会 6月16日(金)

会場：やまばと保育園

南埼玉給食部会は以前、年長児交流の際に給食職員も集まり、会場園のひかり幼稚園で行っていましたが、ここ数年で様々な園で行うようになり、いま各園試行錯誤しているところです。

今年度はやまばと保育園が担当になり、10カ園17人が集まりました。午前中は子どもに混ざりリズム体験、その後近くのコミセンに移動、4グループに分かれ調理実習を行いました。実習内容は、人参ごはん、コーン＆花焼売、蒸しなすのサラダ、小松菜の味噌汁、海苔団子、酢ゴボウ。味付けは用意した“塩分濃度の計算のやり方”、各々の経験をもとに各グループで考え計算し、それぞれの分量で作りました。 酢ゴボウや海苔団子などは形状、大きさ、硬さは各園様々で、考えも園によって色々だったので各グループ三者三様の出来上がりで、作りながら交流できとてもよかったです。午後からは各園の悩みや近況報告、それに対する他の園からのアドバイス等話し合いが行われました。昨今の保育所におけるリンゴの窒息などが話題に上がり、各園気を付けていることなど話し合えました。

*秋には主任部会も開催する予定になっています。

